

住 民 の 皆 様 へ

豚熱（CSF）は、豚とイノシシが感染する家畜伝染病で、本県においても令和3年3月から令和6年3月27日までに、野生イノシシで191例の陽性が確認されています。

感染した野生イノシシが養豚場にウイルスを持ち込む危険性があることから、以下の市町の養豚場周囲等において、野生イノシシに対する経口ワクチンの散布を実施します。

なお、豚熱は豚やイノシシの病気であって、人に感染することはありません。仮に豚熱にかかった豚等の肉や内臓を食べても、人体に影響はありません。

1 経口ワクチン野外散布の概要

(1) 実施体制

県から兵庫県猟友会に業務委託し、猟友会と株式会社野生鳥獣対策連携センターが協力して散布を実施しています。

(2) 散布市町

豊岡市、養父市、丹波篠山市、三田市、神戸市、姫路市、佐用町、洲本市、南あわじ市

(3) 実施内容

① ワクチン散布（1～2日間）

ワクチンは他の動物が食べにくいように山中の土中に埋めます。埋めた場所には石や瓦を置きます（右写真参照）

② ワクチン回収（1～2日間）

イノシシが食べ残したワクチンは摂食率調査のために回収します。

(4) 実施時期

令和6年5～7月、令和7年2～3月



経口ワクチン

ワクチンが入ったアルミ包の周りをトウモロコシ粉等で固めてあります。



ワクチンを埋めた後の状況

イノシシ以外の他の動物に食べられないように、埋めた場所には石や瓦を置きます。ワクチン回収時に石や瓦は片づけます。

2 経口ワクチンについて

- (1) ワクチンは、国の食品安全委員会で安全と評価された成分からできています。
- (2) ワクチンを摂取したイノシシの肉を食べても人の健康に影響はありません。
- (3) 人やペットが誤ってワクチンを摂取しても健康上問題はありません。

3 皆様へのお願い

- (1) 本県では、野生イノシシの豚熱感染が確認されているため、山林から下山の際は、靴底等に付着した土を洗い流すなど、感染の拡大防止に御協力をお願いします。
- (2) ワクチンを発見した場合は、触らないで下記に連絡してください。

問い合わせ先

兵庫県野生イノシシCSF対策協議会（兵庫県農林水産部畜産課）

TEL：078-362-3457 FAX：078-341-8123